

地区行動指針：「理念と実践 ～Think Next～」 クラブスローガン：「良いクラブ、魅力あるクラブ、参加してみたくなるクラブ」

**国際ロータリー第 2790 地区  
第 3 分区 A**
**千葉西ロータリークラブ**
**WEEKLY COMMUNICATION**

 創立 1976年1月20日 承認 1976年2月25日  
 会長 大森 薫 幹事 野口アキ子  
 例会場 千葉スカイウィンドウズ 東天紅 センシティタワー23階  
 TEL 043-238-5555  
 例会日 毎週火曜日 12:30～  
 事務局 千葉市中央区新田町12-1 トーシン千葉ビル7階  
 TEL 043-245-3202 FAX 043-245-7522  
 E-mail : chibawestrc@wrpc.co.jp  
 URL : http://www.chibawest-rc.net/

**■ 会長挨拶 / 大森 薫 会長**

新年あけましておめでとうございます。昨年中は大変お世話になりました。ありがとうございます。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

それではまず先に 5:30 から行われました理事会の報告を致します。

**<理事会報告>**


皆さんは今年ももうすでに、初詣には行かれたと思います。

日本の暮れの忙しさはどこもかしこも同じで、今年も、日本国中、慌ただしさに包まれました。あれほど忙しい人々が元旦を境に一斉に人が変わったように、ケロリとして、ニコニコしながら、暮れには何事もなかったように気持ちを切り替え、初詣をし、静かに新年を迎えます。

1年の時間の中でも最も大きな節目が「暮れと正月の一線」ではないでしょうか。

暮れになると、日本人は何が何でも年内に「仕事や約束事や借金」を片付けようとします。それは、日本人が「けじめ」を重要視する人種だからではないでしょうか。

狩猟民族や遊牧民族は時間に追われることがなく、悠然としていて、年の暮れだからといって慌てる様子もないのだそうです。

また、西洋人の元旦は普通の祭日のように一日休むだけだそうです。新年を数日かけて祝い、これほどはっきりと「なだれ込むような暮れの忙しさ」から「新たに、厳か（おごそか）に何事もなかったように、落ち着いた静けさの中で」除夜の鐘を聞くだけで、瞬間的に気持ちを切り替えて、新年を迎える事ができる民族は他にあるのでしょうか。

そして、元旦の初詣は益々盛んになり、「一億総初詣」と言っても良いほどです。誰にも命令されず、日本全国、これほど、国民を総動員させることができるエネルギーは一体どこから出てくるのでしょうか。

日本人は昔から、けじめをつけなければ満足しない。また、次にも進めないと言う国民の性格です。白黒をつかなければ、居ても立ってもいられない性急な民族性を持っています。

日本民族は長い期間、日本という風土の中から、経験的に学び取ったことが「けじめをつける」ということで、この意識を大変重要視します。

「けじめ」と言う文化こそ、日本的活力の根源であり、これが日本社会の根底に根付いており、日本の経済・文化の発展の基礎になっている「社会資本」なのではないかと考えます。

私達は一旦「けじめ」をつけて、残り時間の多い方も少ない方も、今のうちに次の師走を想定して、色々な準備をし、何度でもチャレンジしていくべきではないかと思えます。

本日の新年例会は恒例の三遊亭楽生師匠の落語で”めでたく！笑顔！”でスタートです。

私の年度も残り6ヶ月あります。“本年もどうぞよろしくお願いいたします。”

**■ 四つのテスト / 川島義美 会員**

「言行はこれに照らしてから」

真実かどうか

みんなに公平か

好意と友情を深めるか

みんなの為になるかどうか


**■ 新入会員入会式**

遠藤あけみ新会員 紹介：大森薫会長

はじめまして。初めての方、顔なじみの方がいらっしゃいます。黒砂の遠藤様宅おそばから、稲毛東の花光様宅となりへ越しました。独身と紹介いただきました。新人でございます。皆様のお顔を汚さぬように頑張ってお参ります。どうぞ宜しくお願いします。